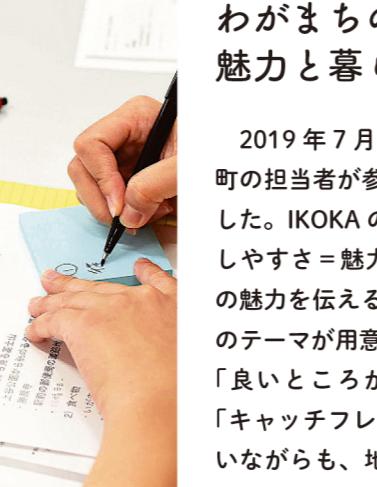


ワークショップで再確認！

埼玉ミッドエリア

「IKOKA」に暮らす私たちの充実ライフ



お気に入りスポットやポイントを振り起こし。付箋紙に頭に浮かんだ魅力やまちの風景を書き出し、魅力を洗い出しました。

わがまちの自慢から見えてきた  
魅力と暮らしやすさとは  
  
2019年7月、IKOKAアンバサダー10人と各市町の担当者が参加するワークショップが開催されました。IKOKAの魅力を再発見するため「地域の暮らしやすさ=魅力って何だろう?」「自分が住むまちの魅力を伝えるキャッチコピーを考えよう」の2つのテーマが用意され、みんなでワイワイガヤガヤ。「良いところがたくさんあって、まとまらない」「キャッチフレーズを考えるのは難しい」と、迷いながらも、地元愛あふれる意見が続出しました。まずは、熱気に満ちたワークショップから見えてきたIKOKAの魅力と暮らしやすさを紹介。その後、各市町について紹介します。



保育園の待機児童数は桶川市0人、鴻巣市0人、北本市0人、伊奈町0人（平成31年4月調べ）。鴻巣市の児童館・児童センターの数は8カ所。現在、1施設が整備中で令和2年2月に開館（予定）すると、児童館の数が市内9カ所となり、1施設当たりの児童数で比較すると、県内40市中1位になります（平成30年3月時点）。

電車・車、都内に通うのも  
レジャーに出かけるのも便利



「都内に出やすく、JR上野東京ライン、JR湘南新宿ライン、ニューシャトル（埼玉新都市交通）など交通手段の選択肢もさまざま」（西原さん）。「趣味が温泉めぐりなのですが、圏央道の開通で茨城や栃木、箱根、湘南方面にもアクセスがよくなり移動が快適です。逆によその地域からも、どんどん遊びに来てほしい。地域の魅力をみんなに知ってもらえるチャンスが増えたと思います」（赤堀さん）。



東京駅までの所要時間はJR上野東京ライン利用で上尾駅から約41分、桶川駅から約46分、北本駅から約51分、鴻巣駅から約55分、ニューシャトル+JR利用で伊奈中央駅から約59分。

施設や制度がバックアップ  
子育てに適した環境

「真夏や真冬は外遊びが少なくなるので、『アピーランド』や『こどもの城』など清潔で管理が行き届いた児童館があることは市の魅力」（小場さん）。「少し前に保育園が増設されたこともあり、待機児童がほとんどになりました。学童保育も整っています」（丸崎さん）。「ピアノ、水泳、バレエ、英語など習い事の選択肢が豊富。幼稚園から通える学習塾もあります。埼玉アイスアリーナではフィギュアスケート教室も開催されています」（小場さん）。